授業概要

絵画造形表現を実践的に学ぶ。保育場面で活用できる様々な実践を通じて、いろいろな材料技法を体験する。自己の造形感覚を触発しつつ、子どもの成長に寄り添い自由な表現をサポートするために、保育者としての適切な指導のあり方を考えるよう指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	自分のなかの子どもと出会う（色の記憶から）
第3回	造形遊びとその発展的实践（1）ボールペンドローイング
第4回	造形遊びとその発展的实践（2）紙立体
第5回	造形遊びとその発展的实践（3）描画材料
第6回	造形遊びとその発展的实践（4）色彩材料
第7回	紙の可能性（1）はりこのアニマルハットの製作
第8回	紙の可能性（2）骨組みを作る
第9回	紙の可能性（3）クラフト紙を貼り重ねる。
第10回	紙の可能性（4）彩色する
第11回	紙の可能性（5）仕上げ
第12回	材料の組み合わせ（1）ロープと粘土で人形を作る
第13回	材料の組み合わせ（2）彩色と仕上げ
第14回	観察と表現（よく見て描く）
第15回	作品持ち帰り用バッグを作る（簡単ステンシル）
第16回	課題のまとめ 作品返却

到達目標

絵画造形表現の基礎的な技法材料について理解を深め、自身も自由な表現を楽しむことができる。自他ともに表現から学びあい、尊重しあえること。

履修上の注意

必要な画材、用具を用意するので教材費¥1000が別途必要となります。各自、水彩絵の具一式のみ用意すること。（ポスターカラーなど手持ちのものでよい。）

予習・復習

基本的には授業時間内での作業とする。事前にアイデアを考えてくる、または遅れた作業を挽回するなどの指示をすることがある。

評価方法

製作に取り組む姿勢、提出作品の完成度と内容、準備、後片付けを含めた総合評価。課題作品60%。平常点20%、まとめレポート20%。

テキスト

必要に応じて資料プリントを配布する。